

災害ボランティア活動報告(No. 16)

活動場所:宮城県山元町作田山（前回同様：斎藤様の農地）

活動内容:ビニールハウス内作業、ビニールハウス組立・ビニール張

参加者:メンバー（木下史典、森本次郎、大久保隆史、榎戸孝行）、一般参加、ネット参加の皆様（合計30名）

活動報告:『親子で震災ボランティア体験』in MIYAGI、ボランティアバス第5弾です。

今回も、前回伺った斎藤さんの農地に行きました。

現在は、ボランティアセンターで小学生まで参加できる所は、知っている限りなくなってしまいました。

今回は、参加者が30名と今までの中で一番少なかったです。台風が近づいているとの天気予報のためか、キャンセルが9名と大量に出てしまいました。

今までも2～3名のキャンセルは有りました。仕事の都合でどうしても伺えない、風邪などの病気で伺えなくなったなど有りましたが、今回は考えさせられます。

観光会社のボランティアツアーと同じように考えられているのかもしれませんが。

私たちはあくまでもボランティアであり、参加者の皆様と同じ費用を出し、時間を使い奉仕しています。

できるだけ多くの方々を被災地に連れて行き、被災地の現状と、これから起こると言われている震災への備えを考えて頂くために行なっています。ですので、参加費は原価です。

小学生から参加 OK なのも、災害弱者の子供達に体感的に震災を分っていただく、そのことが、いざというときの心の備えが出来、少しでも対応できるようになるとの確信から行なっています。

ですから、申し訳なかったのですが、前日キャンセルの方には費用を負担して頂きました。

バスの固定費は変わらないですし、弁当などの注文の物は請求されてしまいます。

それと、次回第6回ボラバスは、参加費を多少値上げいたします。400円ほど。

同じ金額でやろうと思っていたのですが、影響が出てしまいました。9名のキャンセルで7万近く違ってきます。すべてがマイナスになりませんが、そういう事情です。ご理解お願い致します。

今回も参加費は、一般参加7,500円、会員6,500円、です。（会員の場合、会から1,000円の助成が出ています。皆さん会員になって頂ければ、参加するほどお得です。）

行種:9月28日（金）21:00:千葉県JR 四街道駅出発～21:30JR 西船橋駅～22:00JR 錦糸町駅経由～宮城県山元町へ。9月29日（土）朝 6時00分 地元吉野家で朝食。（前回同様、牛納豆定食。）その後、被災場所を視察。9時に斎藤さんの農地へ。



※参加された皆さんの集合写真です。今回は、九州福岡から高校生が参加されました。茶髪ですがボランティアに興味があるそうです。見かけではないですね。

今回も学校の先生や地方議員の方々など多彩な方々が参加されています。前列右二人目が被災された斎藤さんです。震災前14棟有ったビニールハウスが、一年半経っても5棟しか再建されていません。生活再建のため、これからもお手伝いしていきます。



被災場所:

※海岸沿いの八重垣神社のあった場所です。中央に仮の祭壇が置いてあります。

※写真だと判りづらいですが、神社の立派なお社が写っています。現在は、左のように津波で更地になっています。



作業内容:左の写真は、ビニールハウスの中の骨格にビニールを張っています。二重にしているのですね。

右の写真は、ハウス内に二重の骨格を設置する作業と、中に張るビニールを天井に仮付する作業を行う。骨格が出来たら仮止めを外しビニールを張ります。

野菜を栽培するのは大変だと思いました。丁寧に丁寧に育てるのですね。



女性の方々や子供達には、ビニールハウス内でパブリカの茎が倒れないように、網にバンドで固定して頂きました。

子供達の笑顔が一番です。この経験を基に、いざ震災のさいは役立てて頂きたいと思います。

津波てんでんこです。（東北弁で、てんでんばらばらに逃げなさい。自分が助かることを一番に考えなさいとの教え。）『釜石の奇跡』といわれた鶴住居小学校では、津波てんでんこの教えを守り、隣の釜石東中学校の生徒と共に児童の被災者ゼロでした。昔の教えが生きていました。作業は今回も、怪我人ゼロでした。本当にご参加された皆様、有難うございました、そしてお疲れ様でした。斎藤さん曰く、『ボランティアさんに来て頂かつたなら、作業に10日かかっていました。』との事。感謝の気持で、また、パブリカ・ピーマンやいんげん豆など、おみやげに頂きました。大変なところ『こちらこそ』の気持ちです。作業が終わり、予定通り汗を流してから帰路につく。